



結

2017. 3. 18 No.74

yui

発行「憲法9条の会つくば」
〒305-0005
つくば市天久保 1-10-12 1-401
TEL 080-5888-7824
Fax 029-856-2286



<http://peace.arrow.jp/tsukuba2/>

3・11から6年 さよなら原発！守ろう憲法！ —つくば共同アクション集会&パレード&お祭り広場—

3.11 東日本大震災、福島第1原発過酷事故から6年になる今年、3月11日(土) 11:00~つくば中央公園で「さよなら原発！守ろう憲法！つくば共同アクション」集会とパレードが開催されました。春めいた青空の下、片平博さんの和太鼓演奏で幕開け、戦争をする国づくりNO@つくば実行委員会の山本千秋さんが「今日改めて『原発被災者に対する完全な支援』『原発依存からの脱却』を強く要求し、『原発ゼロの日本をつくろう』『安倍政権退陣、立憲主義・民主主義の日本を取り戻そう』の声を、このつくばからも力強く訴えていきましょう」と挨拶されました。福島原発事故避難者支援茨城の会の小張さんからは「福島からの自主避難者の現状」として6年経った今、子どもたちの健康被害の実態、住宅援助打ち切り、医療費補助の打ち切りなど厳しい現状報告がありました。原発事故被害者「相馬・双葉の会」会長の国分富雄さんからは、「福島は、いま」として国、県、自治体が進める避難解除について話されました。一度の除染ではどうにもならない汚染の実態、自治体職員の離職、未だに仮設住宅で孤立しながら暮らす高齢者の方々、厳しい現実の中にありながら声を出せない福島の人についてベラルーシのノーベル賞作家の「日本社会の中には抵抗の文化がない」という言葉が紹介され、国民的な世論を高めていくことの重要性が訴えられました。脱原発ネットワーク茨城の小川仙月さんからは東海第二原発が沸騰水型原発のモデルケースとして再稼働のトップにあがってきている現状が報告されました。不十分な地震対策、沸騰水型原発の根本的な危険性、首都圏に近く避難対象者が100万人近いとされる東海第二原発、再稼働を許すことはできないと改めて確認されました。政党、市民団体からのリレートーク、最後はつくばからのアピール「原発ゼロをみざす運動は、核廃絶運動や戦争法廃止、憲法守れの運動と連動して、ねばり強く継続されています。ここつくばの地においても要求を高く掲げ、安倍政権の退場まで、力強く訴え続けていきます」を採択しました。様々な物産が販売され、パレード終了後は芝生の広場で昼食を食べながら橋本実さんの歌を楽しみました。(S)



憲法9条の会つくば 賛同人を増やす活動にご協力を！

賛同人の皆様、憲法9条の会つくばの賛同人数は、現在939人です。この数を1000人にしたい、という活動計画を毎年総会で提起していますが、達成できていません。元々つくばは住民の移動が多く、退職に伴いつくばを離れる方も年々増えてきています。毎年10名以上の新入会はあるのですが、同じくらい退会もあります。意識的に入会のお誘いをしないと、会員の減少はくいともられません。



賛同人の皆様、是非もう一度身近なお知り合いを見直して下さい。配偶者の方、お子様、お孫様、サークルやご近所でのお友達など、お近くにおられる方でお誘いいただける方はいらっしゃいませんか？世話人会では、気軽にお誘いできるつくば独自の「お誘いパンフ」の作成を計画していますが、コミュニティ誌「結」なども利用していただいて賛同人を増やす活動にぜひ取り組んでいただきたいと思います。

強行された戦争法、共謀罪の企て、国外の不安な情勢など、平和を求める人々の願いが踏みにじられるような毎日です。私達のできることは、9条を守り、活かし、平和な日本を守り続けたいという人々の声を大きくすることです。その活動の基本となる賛同人を増やす活動にご協力下さい。地域で集まりなどを持たれる場合に声をかけていただければ、代表や世話人がお伺いすることもできます。「結」を余分に必要とされる方もご連絡下さい。(代表・結担当 穂積)

「共謀罪」は「テロ防止」のため？

テロ防止のためには「テロ等準備罪」が必要というのはホントでしょうか？

政府は、「共謀罪」の看板を変えて「テロ等準備罪」と呼ぶ、「テロ等準備罪」を共謀罪というのはレッテル貼りと言ってきました。その共謀罪法案（＝組織犯罪処罰法改正案）の内容が2月28日に明らかになりました。3月10日の閣議決定をめざし、自民党・公明党の党内審議にかけられました。ところが、共謀罪法案にテロの文字はなかったのです！ 看板の塗り替えでたまそうとするポスト真実の姿がよく判ります。狙いは「共謀罪」なのです。法案は修正を余儀なくされ、閣議決定は先送りされました。

「共謀罪」法案は過去に3回国会に提出され、審議の過程で市民団体、労働組合、NPO、あるいは会社などの正当な活動を妨げてはならないという歯止めを入れる修正がされましたが、それでも危険が大きいと廃案となりました。今回の法案では、その歯止めすらないと言われています。

二人が重大犯罪を共謀（同法案では計画）し、準備行為をすれば処罰できるとしています。刑法は、実際に行なわれた既遂の犯罪を対象にするのが原則です。例外として、殺人・銃器の保持・爆発・薬物など特定の重大犯罪に対して、準備段階で処罰することができるとされています。これらの特定された犯罪以外に捕まれない穴があるのか、それすらわからないと言われています。国民の安全にとって必要かどうか、法律専門家が法案を読み込んで判らないということです。広範囲の犯罪に適用できるように、大きく網をかけていると想像できます。

それどころか、「一般の団体が性質を一変させた」と警察が恣意的に認定すれば、組織犯罪集団とされる危険があります。犯罪の準備をしていることを知るためには、計画段階で内定や盗聴、メール・SNSなどの監視を行わなければなりません。警察は内々に違法なこのような行為を既に行っていますが、国民を公然と監視できる法が成立した下では、表現の自由も結社の自由も奪われ、戦前の治安維持法が支配した国家主導の暗い社会の再来となってしまいます。

安倍自公政権は、秘密保護法の制定・集団的自衛権行使容認の閣議決定・安全保障関連法の制定とその実施など、日米のガイドラインに沿った戦争できる国づくりの道を強引に進めています。国民への監視と取締りを行い、反対意見を封じ込める武器ともみなせる「共謀罪」法案を何とかして成立させてはなりません。

今一つみのがすことができないことは、学術会議の軍事研究に対する立場です。軍事研究は行わないとするこれまでの立場を維持するのか、学術会議の「安全保障と学術に関する検討委員会」の動向が問われています。安倍自公政権が科学者を軍事研究に取り込む一環として、防衛省の「安全保障技術研究推進制度」を発足させ、この制度の提案課題に対して、昨年の6億円の研究予算から、今年度は110億円に増大させました。昨年、つくば市の物質・材料研究機構からは2課題が採用されています。いくつかの大学が軍事研究を行わないという態度表明をしていますが、学術会議の軍事研究に対する態度が変質すれば、米国の軍産学複合体が日本にも形成され、引き返すことのできない迷路に入っていくことが予想されます。学術会議の動向が注目されます。（野崎浩司 記）

行動予定

- 3月19日（日）** ①定例署名 13:00～14:00 アルス前、②9・19を忘れない共同アクション 12:00～13:00 つくば駅 A5 出口（@つくば主催）
- 4月3日（月）** ①アベ政治を許さないスタンディング 13:00～13:30 つくば駅 A3 出口（@つくば主催）、②9条署名 13:30～14:30 クレオ前広場
- 4月9日（日）** 9の日署名 12:00～13:00 アルス前
- 4月16日（日）** 定例署名 12:00～13:00 アルス前
- 4月19日（水）** 9・19を忘れない共同アクション 18:00～19:00 つくば駅構内改札口付近（@つくば主催）
- 5月1日（月）** つくば中央メーデー 9:00～中央公園（予定）
- 5月3日（水）** 憲法フェスティバル 10:00～15:00 水戸ハナミズキ公園
- 5月9日（火）** 9の日署名 12:00～13:00 場所未定
- 5月20日（土）** 定例世話人会 13:00～16:00 並木交流センター（予定）



「憲法9条の会つくば」の活動から



◆賛同人 2017年3月10日現在
総数 939名 (市内 674名)
◆9条署名 3月10日現在 16,502筆

当会では毎月第3日曜日に定例署名、9日に9の日署名を行なっています。その他、「戦争をする国づくりNO@つくば」と共に、毎月3日「アベ政治を許さない」スタンディングと署名を行ないます。

@つくば共同行動 スタンディング

▼3日は、毎月、「アベ政治を許さない」のポスターを掲げ、TX つくば駅前でスタンディングをしています。2月3日も、7人で、スタンディングをしました。安倍政治を、一日でも早く退陣させたいという思いの籠ったティッシュとチラシを配布しました。スタンディング終了後、場所を西武前に移し、3人で署名活動をしました。金曜日というのに、西武デパートに来る客人は少なく、署名は7筆。2月19日に開催される「共謀罪」学習会のチラシを配布しました。▼3月3日は、1時からの「アベ政治を許さない」スタンディングの後、3人で署名活動を始めました。とても寒い日で、北風も強く、じっと立っていることもつらいような日でした。その上、2月末に西武デパートが閉鎖され、人の流れが大きく変わったようで、どこで署名活動をするか、悩ましい感じの署名活動でした。3日は、クレオ

前から前ダイエー(現西友のあるデイズタウン)の前まで移動、しかし人通りは少なく、再びクレオ前に戻りました。寒いこともあって、集めた署名は3人で、仲良く1人1筆で、計3筆でした。(長田)

定例・ 9の日署名

▼3月9日は、アルス前で署名をしました。3日と違い、春めいた温かい日で、通行する人も和やかな表情でした。通行する人数は、それほど多くはなかったけれど、比較的チラシの受け取りもよく、署名も、4人で26筆集めました。署名集めは得意じゃない、と言っていた方が5筆も集め、「最高記録」と感激していました。よかった！！です。

※2月9日の署名は雪で中止となり、2月19日の定例署名は「9・19を忘れない！共同アクション」と共謀罪学習会に集中するというので、見送りました。

(署名担当)

河村俊次さん、お悔やみ

謹んでお悔やみ申し上げます。

9条の会つくば発足当初からの賛同人で、長く世話人を引き受けられていた河村俊次さん(高野台在住)が、2月15日逝去されました。

河村さんは明るく穏やかなお人柄で、9条の仲間を大切にされていました。また、国会への署名の提出や、設立のつどいの実行委員など多方面で活躍されました。

ご闘病のかいなく逝去されまことに残念です。心からお悔やみ申し上げます。

◆憲法カフェ桜ニュータウン

憲法カフェ桜ニュータウンを4月8日10時より、広岡交流センターにて開催します。(毎月第2土曜に6回の予定で)11周年の集いの黒澤いつきさんの講演が分り易く、また日本国憲法の素晴らしさを再認識しました。そのことを皆さんと共有したく、コーヒーでも頂きながら気軽に楽しく学ぶ企画を設けました。都合のよい時に、気軽に参加してください。

日時：4月8日(土)10:00~12:00(以降毎月第2土曜日)

場所：広岡交流センター

連絡先：阿部 TEL029-857-6503

署名のお願い

今号の結に2種類の署名用紙が同封されています。1枚は毎年お願いしている「9条を変えない署名」です。もう1枚は、1月の世話人会で署名への取り組みを決定した「ヒバクシャ国際署名」です。この「ヒバクシャ国際署名」について長崎出身の賛同人鶴文乃さんの訴えを掲載しています。鶴さんは、「平和の鐘、一振り運動」の提唱者でもあります。この2種類の署名に是非ご協力をお願いいたします。署名はお近くの世話人に手渡しいただくか、集約先までご郵送をお願いいたします。その際申し訳ありませんが郵送料金はご負担下さい。

国連は、「核兵器を法的禁止し廃絶する条約」の交渉会議を2017年に開催する決議を、昨年、賛成多数で採決。ところが、唯一の核兵器被害国の日本は、この決議に反対。また、昨年12月、国連で採択された「平和への権利宣言」にも、日本は反対しました。

この宣言は、国家が引き起こす戦争や紛争に、個人が「人間侵害」と反対できる根拠となる宣言です。

この宣言には、日本国憲法の前文が生かされています。広島、長崎の被爆者は、自分たちの苦しみを再度経験させてはいけなと、戦後訴え続けてきましたが、日本政府は、日本国憲法の平和主義に反し、常に期待を裏切ってきました。そこで、被爆者は世界の良識に訴えるべく、「核兵器廃絶国際署名」を、呼びかけています。皆さまのご協力をお願い致します。

(平和の鐘・一振り運動、長崎の証言の会、鶴文乃)

映画『スノーデン』

監督：オリバー・ストーン
 原作：『スノーデンファイル 地球上で最も追われている男の真実』他

2013年6月、イギリスのガーディアン紙が報じたスクープで、米国政府が秘密裏に構築した国際的な監視プログラムの存在が暴露された。その大量の最高機密情報を提供したのは、たった一人のNSA（米国国家安全保障局）職員、色白で眼鏡をかけた29歳の若者、エドワード・J・スノーデンだった。

スノーデンは、9・11の同時多発テロに危機感を抱き、国家の役に立ちたいと考えて軍に志望入隊した。しかし、特殊部隊の過酷な訓練で両足に大怪我を負い、除隊を余儀なくされる。そこで彼は、優秀な頭脳を活かし、CIA（中央情報局）に入る道を選ぶ。次のテロとの戦いの主戦場はサイバー空間にあると捉えているCIAで、通信網を自在に操れるスペシャリストとして一目置かれるようになったスノーデンは、背景に恐ろしい国家の管理体制が存在することを知る。ジュネーヴの米国国連代表部に派遣された彼が目当たりしたのは、非公開のはずの一般市民のメール、SNS、通話から世界中のあらゆる情報を収集するNSAの極秘検索システムだった。CIAは、それを利用してテロとは無関係の人物までを監視し、抱き込んでいくのである。

「監視は、テロのためではない。経済と社会の支配のため。国家の覇権のため。」という裏の真実が、リアルに突き付けられる。国家機密が厳格に守られている環境、すなわち密室では、彼らは技術的にやれることは何でもやってしまう——遠い国に無人機で空爆をし、民間人を巻き込むことも「国家のための仕事」ならば犯罪とはならないのである。

本国の自宅に戻ったスノーデンは、パートナーであるリンゼイ・ミルズとの私生活までPCのカメラを通して盗撮されているという恐怖にかられ、CIAを辞職したことを彼女に打ち明ける。

翌2008年の大統領選挙に勝利したオバマ候補は、「わが政権が目指すのは、情報を隠すことなく公開する

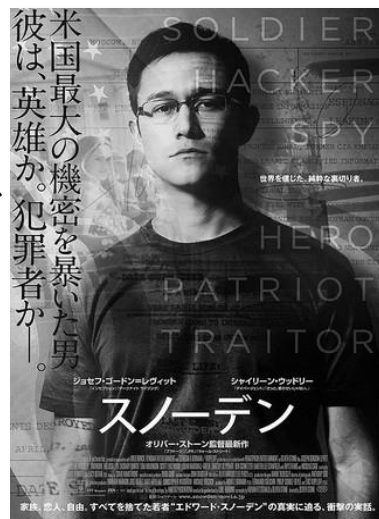
政治だ」と公約する。民間IT企業の契約スタッフとして働いていたスノーデンは、再びNSAでの仕事を担うことになり、日本に赴いて非常用データ・バックアップシステムの構築に携わる。しかし、政権が代わっても、米国政府の諜報活動は変わっていなかった。映画の中で、横田基地での勤務を回想するシーンがある。米国によって、日本の送電網やダム・病院などの社会インフラに不正プログラムが仕込まれ、もし日本が同盟国でなくなったらプログラムが起動し、日本は壊滅する——巨大な画面に映る日本列島から灯りが消えていくシュミレーション映像は衝撃的だ。

スノーデンは、極度のストレスによる健康上の問題、リンゼイとの関係の葛藤を経て、ハワイのNSA工作センターに赴任する。しかし、政府のために献身してきたつもりの仕事が、人々の自由と権利を侵害していることに失望した彼は、ついに祖国を告発するという重大な決意を固め、政府による諜報活動の実態を証明するトップシークレットを携えて、たった一人、香港に渡る。

監督のオリバー・ストーンは、香港から脱出後ロシアに亡命したスノーデンと2年間で9回会って直接話を聞き、彼の視点からの映画を作ることを決意した。この映画には、アメリカ資本は一切入っていない。しかし、映画の製作・上映には大きな障害・危険があった。

監督は、インタビューに答えて次のように語っている。

- 日本を含めアメリカの同盟国と言われる国は、「アメリカに人質を取られた国だ」ということをよく考えてほしい。
- アメリカ政府は、NSAによる監視は米国民の安全を守るためだと強弁してきたが、「監視」で国民は守れない。（後藤）



インフォメーション

◆茨城県市民連合結成1周年のつどい

山口二郎氏（法政大教授・市民連合世話人）の講演と対話「民主主義の危機と市民・野党共闘」

日時：4月15日（土）13:30～16:30

場所：水戸・県立総合福祉会館

資料代500円

2部：市民連合共同代表とフロアとの交流

3部：野党共闘をどう作り上げていくか

共催：茨城県市民連合

連絡先：長田 090-7845-6599

2017 憲法フェスティバル

5月3日

水戸ハナミズキ公園

つくばからチャーターバス予定。

今年も「9条絵手紙展」あります。乞うご出品。

豪華賞品あり。

カンパのお礼

前号の「結」にカンパのお願いを同封させて頂いたところ、3月10日現在215,000円のカンパをお寄せ頂いております。（口座振込分のみ）この誌上をお借りしてご報告し、ご協力頂いた賛同人の皆様に厚く御礼申し上げます。「憲法9条の会つくば」の活動を発展させるため、今後ともご支援、ご協力よろしくお願い致します。（会計担当）